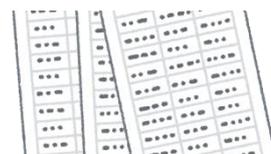


## ◆◆◆名前◆◆◆

■明治安田生命保険が発表した「2022年生まれの子どもの名前」調査によると、男の子は「蒼（あおい，そう）」「凧（なぎ，なぎさ）」、女の子は「陽葵（ひまり，ひなた）」が最も多かったということ。

子どもの名前について、私にはこんな思い出があります。  
担任学級が決まり、児童名簿で子どもの名前を確認していると、私と同じ「廣渡」という名字が目につきました。



「めずらしいな。廣渡なんて弟くらいしか出合ったことがなかったのに…」  
そんなことを思いながら下の名をみると、「文」とあります。何と読むのかな。  
ブン，ではないな。フミかな。先輩にたずねると「アヤ」と読むことがわかりました。

■次の日。

始業式が終わって教室にもどり「よろしく」のあいさつをしながら子どもたち一人一人の名前を呼んでいきます。後半にさしかかったところで廣渡さんの番となりました。

「ヒロワタリ アヤさん」私の呼名に少し間があって文さんが小さく「はい」と返事。

「さようなら」をして子どもたちがみんな  
教室を出たと思ったら、文さんがもどってきました。

「どうしたの？忘れ物？」

「先生，最初の日私に私の名前をちゃんとアヤって

呼んでくれたの先生がはじめてでうれしかった。さようなら」  
大きな声でそう告げて小走りに教室をあとにする文さんを見送りながら  
子どもの名前だけは間違えぬよう，と心に刻んだのでした。

33年前の春の話です。

